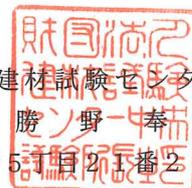




品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成17年 6月17日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野一幸
埼玉県草加市稲荷5丁目2番20号

試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社タナカ住宅資材事業部 所在地：茨城県新治郡新治村大畑702-1
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用金折り金物 商品名：かね折り金物SD 用途：胴差一柱一胴差の接合部に使用する金物 寸法：450×70mm, 板厚0.6mmの鋼板を長手中央部で90°に折曲げ加工し、 片面の寸法は225×70mmとした。 材質：Zn-11%A1-3%Mg-0.2%Siめっき鋼板スーパーダイヤ(NSDC570 K18) 2. 接合具 ねじ10本留め(加力胴差側5本, 支持胴差側5本) 商品名：TB-45 寸法：長さ；45mm, 外径；5.1mm, 内径；3.3mm, ねじ先の形状；とがり先 材質：SWCH 18A (JIS G3539) 表面処理：Ep-Fe/Zn5 CM2C (JIS H 8610 及び JIS H 8625) 3. 軸組 柱：樹種；すぎ, 寸法；105×105mm 加力胴差：樹種；べいまつ, 寸法；105×210mm 支持胴差：樹種；べいまつ, 寸法；105×210mm 4. 試験体数 7体(うち1体予備試験体) 参照：図-1及び図-2(試験体)
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計(監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室, 企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター)の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準引張耐力($P_{0.t}$): 8.6kN 耐力算定の基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-3及び図-4 破壊状況：写真-1~写真-6
備考	当該試験結果は、平成12年建設省告示1460号表三(ほ)に定める 羽子板ボルトφ12mmに長さ50mm 径4.5mmのスクリュウ釘(必要耐力8.5kN)に該当する。
試験期間	平成17年 5月25日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本敏男 試験責任者 川上修 試験実施者 林崎正伸, 木村匡亮
試験場所	中央試験所